国内債券見通し

情報提供資料
2026年2月2日

マーケットの動き（2026年1月26日～1月30日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。
外国為替市場で円高・米ドル安が進んだことを受けて物価の上振れ懸念が後退し、超長期債を中心に買いが広がりました。さらに、30日に発表された1月の東京都区部消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから日銀の利上げ観測がやや後退し、金利は低下しました。
クレジット市場は、総じて底堅く推移しました。

投資環境見通し（2026年1月）

国内長期金利に対する上昇圧力は残る

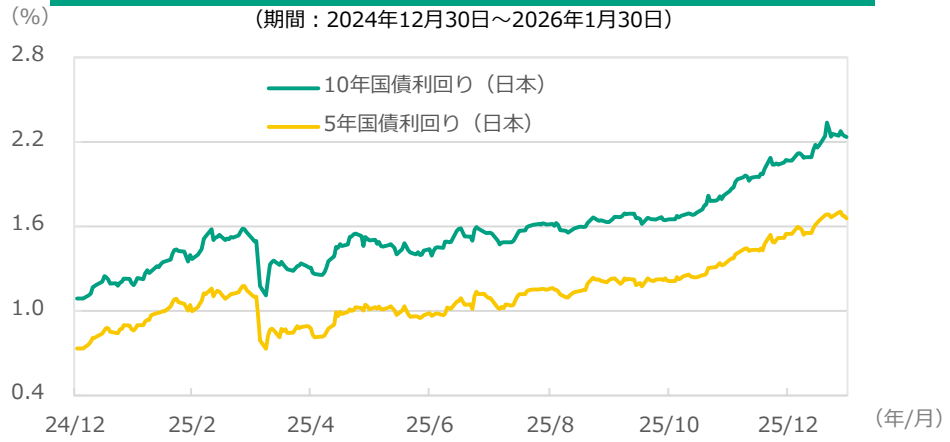
日銀は12月の金融政策決定会合で利上げ再開を決定し、日銀総裁は今後も利上げ路線を継続する姿勢を示しました。その後もなお、政策金利の到達水準を巡る思惑や財政拡大政策を背景とした需給悪化懸念は残ることから、国内長期金利に対する上昇圧力は残るとみています。ただし、今後の利上げ継続についてはすでに相当程度織り込まれたとみられることから、国内長期金利の上昇余地は限定的とみています。

	1月30日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%）（変動幅）	2.23	▲0.02	0.16	0.68	1.03
NOMURA-BPI総合（騰落率）	331.79	0.15%	▲1.26%	▲3.81%	▲6.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日）までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202601_outlook.pdf

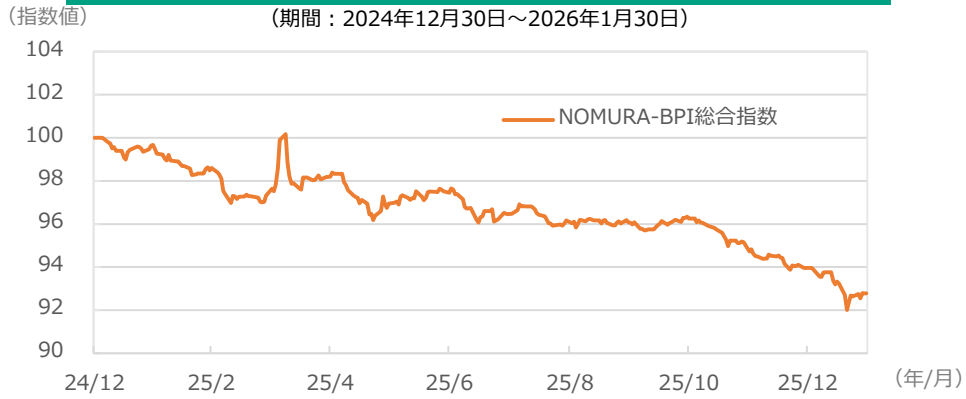
日本国債利回りの推移

（期間：2024年12月30日～2026年1月30日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年12月30日～2026年1月30日）



※2024年12月30日の値を100として指数化
※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようにお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。https://www.myam.co.jp/market/report

明治安田アセットマネジメント
明治安田アセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会